

令和3年 12月 23日

校長室だより

第 8 号

座間市立相武台東小学校
校長 浜田 佐織



今年の一文字は…「継」

1年で一番長かった2学期も残りわずかとなりました。長く続いているコロナ禍ですが、子どもたちは本当に良く頑張りました。様々な行事や日々の学校生活を通して、確実に成長しています。一人ひとりの成長の様子は、通知表や個人面談、担任からの子どもたちへの言葉でお伝えします。頑張りや成長をおおいに褒め、新しい年も自分に自信を持ち、意欲的に進んでいけるように、繋げていただきたいと思います。

また、今学期はクラスや学年そして他学年との交流も深まりました。交流を深めることができたのは、高学年の力が大きかったと感じています。委員会活動による全校のドッジボール大会や、児童会によるオンライン交流会、さらには給食時間を使った動画放映など、知恵をしぼり工夫を凝らし、全校が楽しみ交流を深める時間を創ってくれました。低学年同士もおもちゃランドなどを通して交流できたことも、すばらしい成果です。子どもたちの持つ力を頼もしく感じた2学期でした。

毎年、暮れになると今年の一文字が発表されますが、私の一文字は『継』です。残念ながらコロナが継続してしまったこと、その中でも学校での学びや子どもの育ちは、待ったなしで継続することができました。このことは来年もしっかり継続させていきます。

個人的には身内の者が亡くなり、家族に新しい命が誕生するということを経験しました。当たり前のことですが、大切な人を失う喪失感が大きく、新しい生命の誕生は大きな喜びであり希望です。「命は継がれていく」ということを実感した一年でした。今年も皆様に支えられ学校づくりを進めることができ、こうして一年を締めくくることができることに感謝しております。来年もどうぞよろしく願いいたします。



ドッジボール大会



おもちゃランド



人権について考える（12月7日の朝会講話から）

12月4日～10日は、毎年「人権週間」と定められ、最終日の10日は人権デー（HumanRights Day）となっています。1948年に国連総会において「世界人権宣言」が採択され、翌年から始まりました。12月の朝会では、校長講話として、このことを取り上げ次のように話しました。（一部抜粋で具体的なエピソード等は省略しています。）

人権とは「一人ひとりが安心して生きていく権利」です。そのためには一人ひとりが大切にされなくてはなりません。みなさんが、「自分を大切にすること」そして「まわりの人も大切にすること」を考え行動してほしいと思います。「自分を大切にすること」ためにどんなことができるのでしょうか。私はこんなふうに考えました。

- ①疲れたら休む（大人も子どももこれは基本です！）
- ②好きなもの（こと）を持つ
（羽生選手のプーさん、本校職員の好きなアイドル を例に話しました）
- ③自分の気持ちに素直に行動する
（特に嫌なことをされたとき、困ったとき、助けてほしいとき、悩んでいるときは、相手や誰かにその気持ちを伝えてほしいです。）
- ④頑張ったときは、（結果が良くなくても）自分をほめる。

ほかにも、自分を大切にできることは、たくさんありますね。ぜひ、一人ひとりが、そしてクラスみんなで話し合い考えてください。（講話前半部分）

子どもたちが、今の自分を肯定的に受け止めながら、まだまだ成長できる自分に（根拠はなくても）楽観的な自信をもちながら、育ってほしいと願っています。まわりの大人は、そんな子どもに寄り添い支えられる存在でありたいものです。講話に使った資料を校長室前に掲示しましたので、ご来校の際にご覧ください。「まわりの人を大切にすること」については、次号でお伝えします。では皆様、どうぞ良い年をお迎えください。

